

防災SP養成eラーニングについて

■ 防災SP養成eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

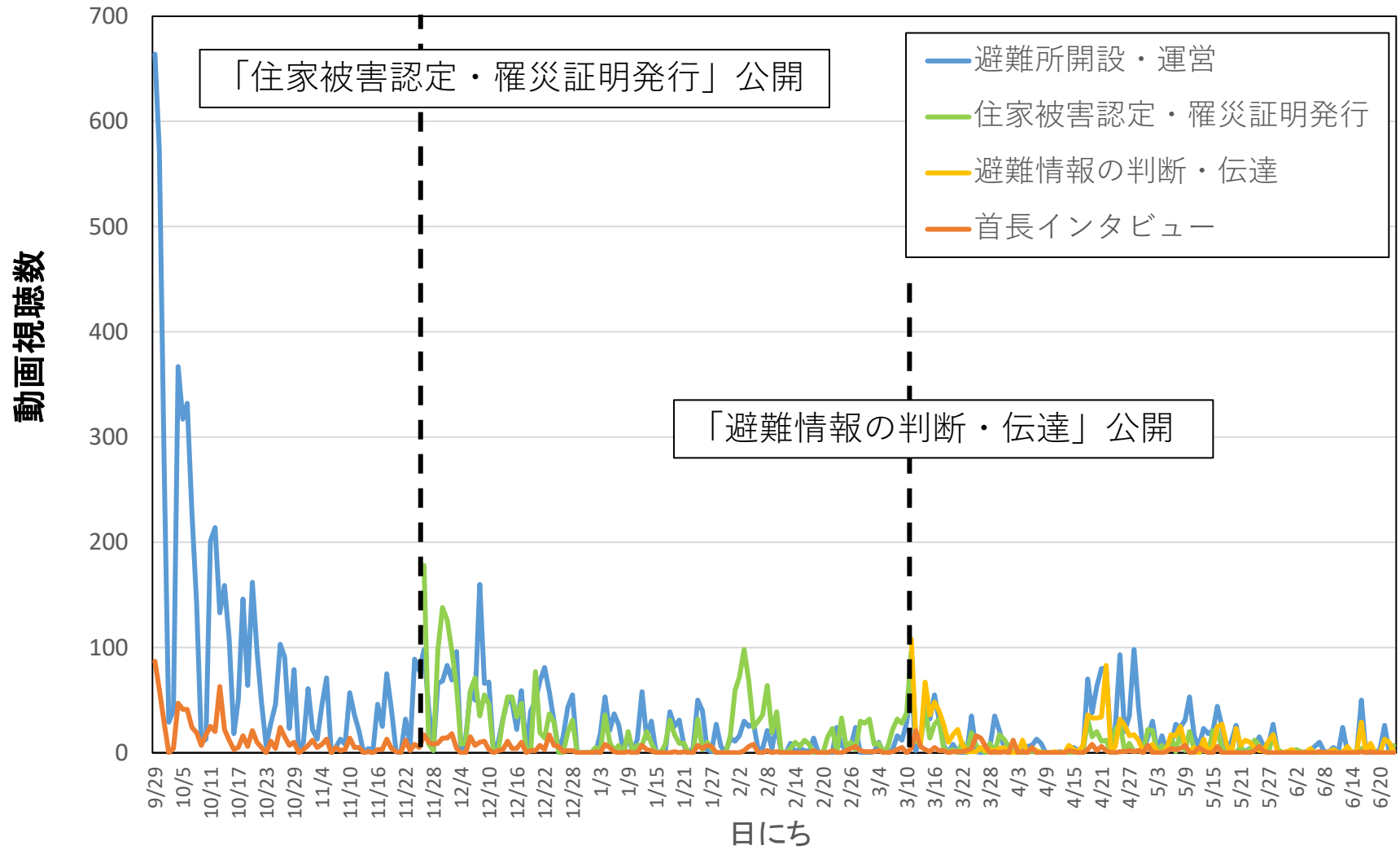
防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 (済)
- ・ 避難情報の判断・伝達(済)
- ・ 災害廃棄物処理
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書交付 (済)
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・遺体処理

2. コンテンツの視聴状況

総視聴数（6月23日18時時点）：避難所開設 9,677回、住家被害 3,286回、避難情報1,134回、首長インタビュー 1,308回、総計15,405回

「避難所開設・運営」
「首長インタビュー」公開



今年度の実施事項

1. コンテンツの公開

1-1. 「要配慮者への支援」

1-2. 「防疫・遺体処理」

1-3. 「災害廃棄物処理」

防災SP養成eラーニングWG



2. 公開済みテーマの維持管理・評価・改善

3. 視聴状況に応じた見直し(R4年度秋頃予定)

防災SP養成eラーニング検討WG設置について

改善事項を整理し能力評価・改善をしながら、コンテンツの更新と維持管理を継続的に行う仕組み

防災SP養成企画検討会

有明の丘研修コースWG

- 企画検討会と連携し研修内容(コース設計と単元構成)を検討する。
- 平成28年度から全10コースに設置
- メンバー：コーディネーター(検討会委員等)、専門家(検討会委員等)、内閣府防災(地方訓練担当)、委託業者

防災SP養成eラーニング検討WG

- 企画検討会と連携しeラーニングの作成と継続的な見直しを検討する
- 令和4年度初め目途に、6テーマに設置
- メンバー：コーディネーター(検討会委員等)、専門家(検討会委員等)、内閣府防災(地方訓練担当)、委託業者

R4年度防災SP養成eラーニング検討WG

コーディネーター一覧

- 避難所開設・運営：田村圭子 (新潟大学)
- 住家被害認定調査・罹災証明書交付：田村圭子 (新潟大学)
- 避難情報の判断・伝達：井ノ口宗成 (富山大学)
- 要配慮者への支援：鍵屋一 (跡見学園女子大学)
- 災害廃棄物処理：平山修久 (名古屋大学)
- 防疫・遺体処理：山本晋吾 (兵庫県立農林水産技術総合センター)

敬称略

コンテンツの運用とメンテナンス

- R5年度以降、毎年6～8月頃にWGでコンテンツ見直しを実施
- 毎年8月頃の企画検討会で、WGによるコンテンツ見直し結果を報告し、合わせて視聴状況に基づく改善を検討する
- 毎年9月頃に、コンテンツの更新を行う

R4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会			第一回		第二回		第三回		第四回			第五回
WG(新規作成)			■									
公開	■											

動画更新

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会			第一回		第二回		第三回		第四回			第五回
WG(見直し)			■									
公開	■					■						

R6以降	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討会			第一回		第二回		第三回		第四回			第五回
WG(見直し)			■									
公開	■					■						

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画

